

9/12～9/16 の 5 日間、ハワイ大学医学部にて研修医対象のシミュレーション実習の見学に行つて参りました。研修内容は下記の通りでした。

#### 研修 1 日目

午前: 自己紹介、研修内容説明、シミュレーター紹介、医学英語

午後: 不整脈についての講義・シミュレーション、Dr 瀧 (チーフレジデント) の講演

#### 研修 2 日目

午前: 気道管理、医学英語

午後: 不安定な患者管理についてシミュレーション

#### 研修 3 日目

午前: 病院見学 (クイーンズメディカルセンター、シナーズ子供病院)

午後: 小児診療シミュレーション

#### 研修 4 日目

午前: 医療安全についての講義、肺梗塞の診断・治療についての講義

午後: 救急外来対応シミュレーション

#### 研修 5 日目

午前: 夜間当直シミュレーション I・II

午後: 医療チーム対応トレーニング

ハワイ大学での講義で使ったマネキン、シミュレーターは長崎大学病院にもあり、講義・実習など同様の物が出来ると考えられる。そこで、課題と期待することをいくつか挙げてみる。

- ①「綿密な教育プログラムを組む」 今回、救急関係の講義・実習が多くあったが、学習内容を医師プログラム、看護師プログラムまたは、一般職員プログラムと職種別に作成することで、個々のスキルアップにつながり、またチームトレーニングも可能になると考える。
- ②「トレーニング環境を改善する」 上記のようにマネキンの遠隔操作室があれば便利だが、まずは、シミュレーション室の有効利用が先決だと考えるので、部屋ごとによる物品の配置や補充を行い、誰でも利用できるような環境を整える必要がある。
- ③「連携した教育」 今回は研修医対象の研修であったが、参加した先生方が今回だけで終わるのではなく、学んだことを後輩へ伝達することでさらなる知識の増加につながる。また看護師・薬剤師など病院職員と一緒に学習する場を作ることで、病院職員の連帯感を強くすることにもつながると考える。

最後に、このような素晴らしい研修に参加させていただき心より感謝致します。ありがとうございました。